



更北地区住民自治協議会だより 第9号

まちづくり更北

平成 23 年 1 月 1 日 発行 / 更北地区住民自治協議会 総務・広報部会
TEL286-2335 有線 8000 URL:<http://www.grn.janis.or.jp/~kjitiky>

新年のごあいさつ



更北地区住民自治協議会
会長 羽生田 昌傳

平成 23 年の新春を迎え謹んで新年のお慶びを申し上げます。
更北地区住民自治協議会も発足し 2 年が経過しました。平成 22 年度より会長を引き継ぎ、更北地区は区長会と住民自治協議会が一体の組織となりました。地域の皆様方や関係役員の方々のご支援とご協力に感謝申し上げます。

22 年度より住民自治協議会も本格的に活動を開始し、一括交付金の収支運用についても、予算よっての活用が図られ、初年度であり、それぞれの部会活動に要望された補助金は十分な交付とまではいきませんでした。各部会におかれては役員さんの創意工夫と各種団体のご努力・ご協力で 22 年度の事業が遂行されております。

地域住民が自分たちの出来る事は、皆で地域の町づくりをし活性化を図り、“安全・安心な住みよいまちづくり更北”の為に、住民自治協議会組織を充実して区民と行政との橋渡しとして、更に頑張っていきたいと思っております。

22 年度事業もまだまだ残っております。平成 23 年も関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ年頭のご挨拶と致します。



更北地区長野真田線開通式を終えて

「みんなで作って、みんなで楽しんで、みんなでお祝いする」、そして「みんなの思い出に」そんな開通式が私の理想でした。今回、「更北地区長野真田線開通式実行委員会」の母体でもある「更北地区真田線建設促進期成同盟会」の事務局として、開通式の企画・準備・設営から運営までお手伝いさせていただきました。

式典のイメージ（メインアーチ、パレード、会場の配置など）は、開通式の日程調整していた 10 月上旬、工事中の道路を歩きながら、歩道橋をひと目見た時ひらめいたもので、自分の中ではその時にはほとんど出来上がっていました。

後はそのイメージを、限られた予算内で、関係機関と調整しながら準備していきました。

苦労はありましたが、様々な方々のご協力をいただきながら、思い描いていたことが徐々に実現していく過程は、とても楽しくやりがいのあるものでした。

平成 22 年 11 月 23 日、開通式当日、寒い風が吹く中でしたが、心配していた雨も上がり、時折日差しも覗く中、無事開通式を挙行することができました。

来賓には、阿部長野県知事、鷲澤長野市長、議員、地権者と工事施工者による大勢の関係者をお招きして、地域の皆さんが見守るなか、三本柳小金管バンドのファンファーレに合わせてくす玉を割りました。その後、白バイを先頭に通り初めを行い、最後尾はノスタルジックカーが花を添えるパレードとなり、



開通パレード

いい酒とめぐり逢い

真澄 夜明け前 幻舞 越乃寒梅 萬寿鏡 雷梅

有限会社 桜井商店
長野市稲穂町田校394-4 TEL:284-3121 FAX:285-5566



手続きの仕方がわからないの
費用はどれくらいかかるの？
設備はどんなものがありますか？

介護のことで、お困りでしたら
ご遠慮なくご相談ください。

長野市地域包括支援センターコスモス
☎026-284-2166
クリニックコスモス長野
☎026-285-2671
介護老人保健施設コスモス長野
☎026-285-2654
介護老人保健施設コスモスさいなみ
☎026-283-3173

豊かな地域福祉を目指す
医療法人 **コスモス**
長野市小島田町 380 番地



交通安全宣言をする成田翔さん

すばらしい開通式でした。

ひとつの目標をみんなで成し遂げられたことは、自分にとっても貴重な経験になったと共に、素敵な思い出になったことを心から感謝いたします。

主要地方道「長野真田線」は「更北地区開通式」というひとつの区切りとなりましたが、これからも車も歩行者も交通ルールを守る、安全で快適な道路であり、末永く地域に愛される道路であってほしいと願います。

実行委員会事務局 渋川 孝



メインアーチのバルーンづくり

健康・福祉部会

部会長 岩崎 義臣

第10回更北地区子どもフェスティバル

10月17日(日)更北公民館及び周辺敷地において、大勢の皆様にご参加いただき、盛大に開催しました。当日は地区内の小・中学校、幼稚園、保育園をはじめ60余りの団体・グループの皆様にご協力いただき、ステージ発表・展示発表・そして屋内外で様々な体験イベントなどが催されました。

また、運営スタッフとして更北中学校の生徒さんをはじめ、多くのボランティアの方々を支えられながら賑やかに感動のうちに幕を閉じました。

今回で10回目という事もあり、「10年の歩み」として9年間の写真やチラシなど懐かしい資料を展示し、「昔の写真に自分と子どもが遊んでいる姿があり懐かしかった」などの声もいただきました。子どもたちと地域住民が一体となった交流を通じて、子どもたちが地域の良さや親しみを実感し、成長の糧となることが期待されます。



お知らせ

サタパパ広場 平成23年2月19日(土) AM 10:00 ~ 更北公民館

安全・防災部会

部会長 大西 良三

安全・防災部会は今年度事業として ①防犯啓発用のぼり旗の掲示 ②「交通事故防止啓発用鉛筆」を小学校新入学児童へ配布 ③交通安全啓発街頭指導への参加・協力 ④長野市交通安全推進フェアへの参加・協力などを行いました。

また、新たな防災計画を立てて取り組もうとしております。なお防犯事業の一環として、安全・防災部会の構成団体である更北地区防犯協会が八幡原史跡公園内に念願の立て看板を設置しました。夜でも視認できますのでぜひ一度ごらんください。



環境部会

部会長 中澤 俊明

「秋のゴミゼロ運動と河川清掃について」

タバコの吸い殻・ペットボトルのポイ捨て、犬の糞が数多く見受けられ、ごみのない美しい街作り、ゴミゼロの達成にはほど遠い結果でありました。一人ひとりが街を綺麗にする意識の向上と互いの啓発、ポイ捨てが出来ない環境作りを推進していく必要性を痛感しています。目標達成のためには皆様のご協力が必要です。

「ごみ分別強調月間について」

10月の1カ月間、ごみ出しの現状を各地区の集積所で立会い調査と指導を行いました。まだ、分別収集ごみ出しルールの徹底がなされていないごみ出しが多数ありました。各戸に配布されている「資源物とごみの出し方」の冊子を再読するとともに、ルールを守ったごみの取り扱いとごみ出しにご協力をお願いします。

違反ごみの主なものは次のとおりです。

- ・旧可燃物不燃物の袋に納付済みシールが貼られていないもの。
- ・可燃物の中に「紙・プラ」の資源物として区別区分されるべき資源物が混在しているもの。
- ・可燃物の袋の中に不燃物が混在しているもの。

「秋の花いっぱい運動について」

4地区の公共の場所に、パンジーの苗5,400本、チューリップの球根400個を植え付けました。苗はまだ小さく、冬を越して春には大きな花を咲かせて、心を和ませてくれるものと期待しています。

文化・生涯学習部会

部会長 伊東 義次

文化芸術祭並びに人権同和教育推進市民の集いの開催

11月7日(日)更北地区文化芸術祭、11月13日(土)には更北地区人権同和教育推進市民の集いを、更北公民館多目的ホールで開催しました。

2つの事業は当部会との共催で、いずれも盛況でした。

文芸祭「展示の部」では、華道、絵画、写真、書道、和紙人形、バルーンアート、編み物等多種類の展示発表に、鑑賞された皆様は作品の素晴らしさに魅入っていました。

「芸能の部」では、チアダンスに始まり詩吟、コーラス、舞踊、大正琴、お琴と尺八、オカリナ、大道芸等、日頃の練習成果を発表していただきました。出演者の素晴らしい演技、演奏は、観客の皆様を魅了し、会場からも温かい声援が送られておりました。フィナーレは「ふるさと」を全員で合唱し締めくくりました。

「人権市民の集い」では、小中学生代表による実践発表の他、稲里地区の地域の活動状況を発表していただきました。講演は「NPO法人のヒューマンネットながの」副理事長・事務局長の島崎潔先生の「障害のある人が生き生きと暮らしていくために」と題して具体例を交えたお話をされ、参加された皆様は、人権同和教育の大切さを改めて認識すると共に、今後日常の中で活かしていくことを誓い合いました。



青少年育成部会

部会長 松田 芳裕

更北青少年育成スポーツ大会

更北4地区の小学生による、地域・学校・学年を一つにし、1チーム10人、10チームで11月7日に下氷鉦小学校において開催し、チーム賞、個人賞を授与しました。

下氷鉦小学校 5年 小山 峻輝

この前、更北スポーツ大会に参加しました。フリスビーを投げて1から9までのまに当たるゲームをしました。いろんな学校の人たちとチームを作って、ほくは黄色チームでした。なかなか当たらなかったけど楽しかったです。



真島小学校 5年 丸山 祥大

下氷鉦小学校で、ディスクゲッター9というまにあてゲームをやりました。15回投げたけど合計枚数は6枚でした。優勝した人は13枚でした。すごいとおもいました。つぎにやる時は、もっとがんばりたいと思います。

青木島小学校 2年 高野 涼

違う学校のお友達と遊べて楽しかった。あと1枚で優勝だったのは悔しいけれど、銅メダルをもらえてとても嬉しかったです。また参加したいです。

下氷鉦小学校 6年 田澤 まみこ

今日は、ドッチビーがありました。私は、初めてだったのであまり上手く出きませんでした。私はピンクチームで団体戦(チーム戦)では1位になりました。2位は赤チームでした。最初はボールでやると思っていて、出来ると思ったけど、むずかしくてびっくりしました。今日は、楽しかったです。

お知らせ 1) 青少年健全育成住民集会 平成23年1月22日(土) PM 1:30 ~ 3:30 更北公民館
2) 流し雑の集い 平成23年4月 2日(土) 八幡原史跡公園

産業振興部会

部会長 柳澤 昭夫

「特産品まつり」の開催

10月2日(土)、更北地区の自然豊かな地で育った特産物を紹介・直売するため、「特産品まつり」を開催しました。当日は、商工会更北支部青年部が子ども向けイベント「まつりだヨ! 全員集合」を、真島町のホワイトリング駐車場で開催され、多くの親子づれで賑わいました。当部会は、テント2張りを設置し、直売所「よってけや真島」の皆さんの協力を頂き、新鮮で安心・安全な農産物等の地産地消を進めるため、りんご・なし・ぶどう・カボチャ・ジュース等27の特産品の紹介・直売をおこないました。多くの皆さんに利用を頂き、消費者と生産者の輪が一層広まりました。



青木島地区合同防災訓練と「らくちん担架」配備式

青木島地区委員会 副会長 北澤 建男

昨年4月から本格スタートした住民自治協議会青木島地区委員会の「防災対策事業」は、10月23日（土）10区合同防災訓練と「らくちん担架」配備式を開催しました。

地区合同防災訓練を更北支所前広場で、長野市消防局篠ノ井消防署氷鉋分署（4名）の指導で約70名の関係者が真剣な表情で消火・担架輸送の訓練に参加し、後半は体育館に移動、AEDを使った救急救命の講習を受けました。

災害は忘れた頃、襲ってきます。高齢化社会に伴い災害時には援護を必要とする方々の手助けする地区の皆さんの負担は計り知れません。スムーズな避難の一助に「らくちん担架」を公民館に常備することにしました。

今後も、地域の安全・安心のために防災組織の充実、訓練の実施に取り組んで行かなければなりません。地域住民の皆さんの理解と協力を心からお願いいたします。



真島地区委員会

真島地区委員会 委員長 羽生田 昌博

地域の町づくりに下記事業を実施し協力いたしました。

1. 住民自治協議会の7部会事業に活動参加・協力
2. 地域活性の促進で公民館・各種団体の支援
3. オリンピックマラソンへのボランティア活動参加
4. 小学校と協力し児童への防犯パトロールの実施
5. 有害鳥獣駆除事業でカラスの捕獲・駆除の支援
6. 事故防止・交通安全運動の促進、交通死亡事故ゼロは、3,300日継続中

「第五十九回小島田地区敬老会開催」

小島田地区敬老会準備委員代表 水野 富雄



平成22年9月20日（敬老の日）J Aグリーンホールミナミに於いて、第59回小島田地区「敬老会」を開催しました。当敬老会は、地区恒例行事の中で最も歴史があり、年々参加者も増加し今日に至っています。当日、招待者・来賓及び関係者を含め、総勢150名を越す規模での開催となりました。開式の辞に始まり、記念式典・交通安全腹話術・大正琴の演奏のあと、余興の部では生バンドをバックにしたカラオケに、多勢の参加者が得意のノドを披露し、時間オーバーの盛況となりました。最後は参加者全員が起立し、県歌「信濃の国」の大合唱・万才三唱でおひらきとなりました。次回は第60回目と節目の開催となります。歴史ある当地区敬老会がますます発展し、盛大に開催される事を願っています。

稲里地区委員会活動報告

稲里地区委員会 委員長 大屋 祝康

「ホタルの郷再生事業」住民活動フォーラム2010で発表

住民自治協議会が平成22年度から、長野市全地域で本格的にスタートしました。各地区住民自治協議会の活動の理解と情報交換を狙いとした活動発表会が長野市民会館で昨年11月17日開催されました。発表対象は、22年度「地域やる気支援補助金」を受けた9地区の住民自治協議会が活動発表しました。

更北地区代表として、稲里地区「ホタルの郷再生事業について」発表しました。この事業は、下氷鉋小学校内にホタル水路を構築し、児童・教職員・地域の皆様のご協力をいただき、昨年6月ホタルがとびました。地域の大勢の皆様にホタルを鑑賞していただきました。発表では特に「活動成果と地域の関わり」の重要性について強調しました。

- ①今年とんだ数は1晩15匹が最高、しかし今後に希望の持てる光となった
- ②ホタルを介して児童・父兄・家族・地域・教職員との交流が進んだ
- ③自助⇒共助⇒公助の役割分担が明確になり回転し機能した
- ④関係者・地域の方々への説明と教育が重要であり、併せて共に育つ共育が大切
- ⑤自然を大切に作る心の醸成
- ⑥事業に対する地域の方々の理解に感謝
- ⑦学校、児童会の協力・取り組みに感謝



幼虫の放流式

会場に詰めかけた大勢の皆さんから沢山の拍手をいただきました。なお、1年間の成果報告であり、更北住民自治協議会小島田地区委員会と協力して、ホタルの定着に向けた更なる条件整備を継続してまいります。地域の皆様には、今後ともよろしく見守りをお願い申し上げます。